

お 知 ら せ
 平成 23 年 2 月 1 日
 福 島 地 方 気 象 台

今冬 1 月までの福島県会津の雪について

福島県会津では、発達した低気圧や冬型の気圧配置の影響で 12 月下旬から積雪の多い状態が続いています。会津若松市では、12 月 26 日に 115 cm の積雪を観測し、1981 年 2 月 5 日と並び、1953 年の統計開始以降の最深積雪を記録しました。また、只見町では、1 月の積雪差の合計値が 591 cm となり、1 月として統計開始以降の記録を更新しました。

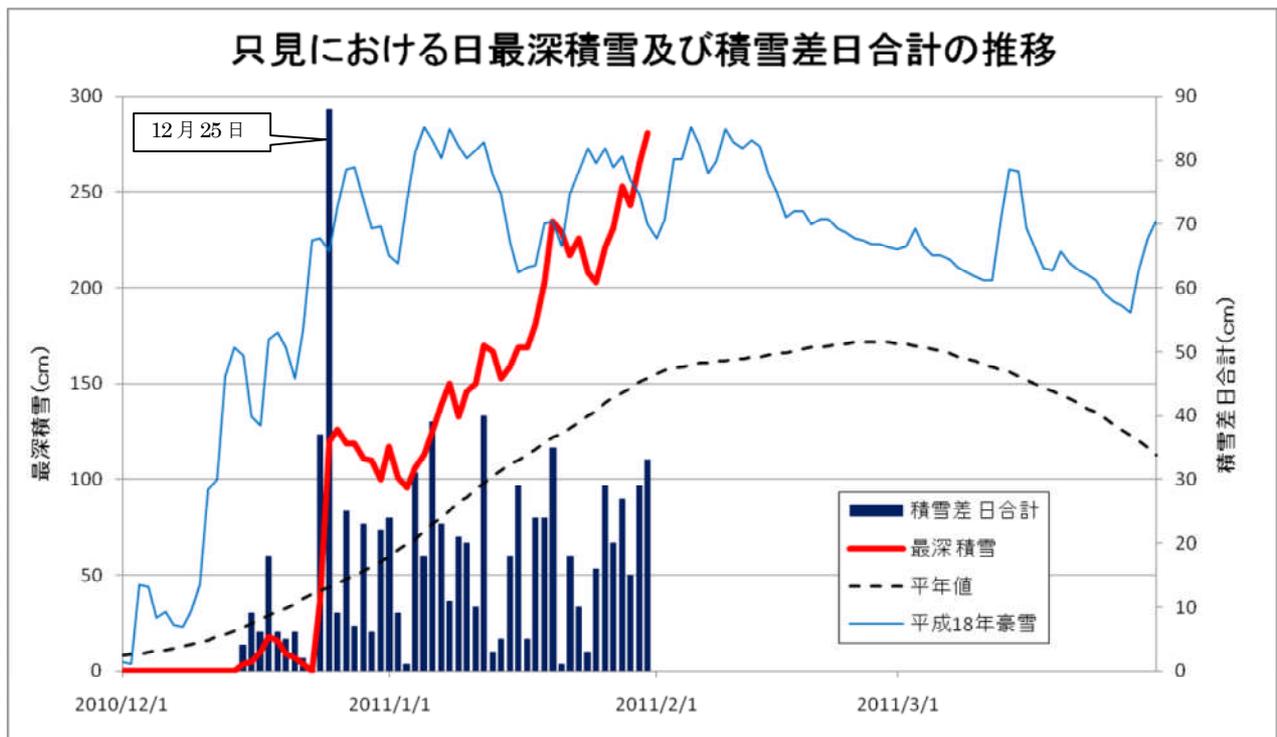
なお、1 月 31 日までの最深積雪が、只見で 281 cm、金山で 204 cm などとなっています。

最深積雪の記録を更新した観測点（統計期間 10 年以上）

観測点	最深積雪		最深積雪 平年値 (cm)	昨冬までの最深積雪		統計開始年
	観測値 (cm)	観測月日		観測値 (cm)	観測年月日	
若 松	115	12 月 26 日	58	115	1981 年 2 月 5 日	1953 年

1 月の積雪差月合計の記録を更新した観測点（統計期間 10 年以上）

観測点	積雪差月合計		積雪差月合 計平年値 (cm)	昨冬までの積雪差月合計		統計開始年
	観測値 (cm)	観測月		観測値 (cm)	観測年月日	
只見	591	1 月	418	577	1986 年 1 月	1980 年



【大雪の原因と今後の見通し】

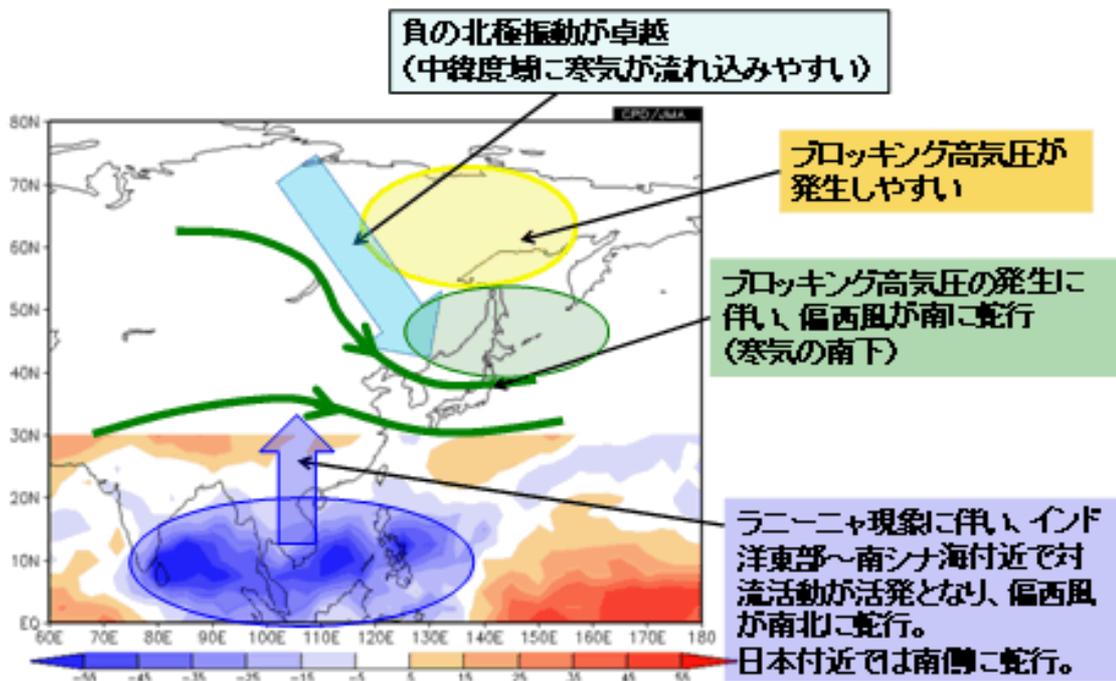
昨年12月下旬以降、日本付近には強い寒気が流れ込んでいるため、気温が平年より低く、雪の多い状態が続いています。

これは、

- ・負の北極振動が卓越しているため、北極付近から中緯度域に寒気が流れ込みやすい状態が続いている。
- ・ラニーニャ現象の影響により、日本付近では偏西風が南側に蛇行する状態が続いている。
- ・日本の北でブロッキング高気圧が形成され、それを回りこむ形で日本付近では偏西風が南に蛇行する状態が続いている。

ことなどが原因と考えられます。

模式図



なお、今後一週間は、強い寒気の南下はなく、気温も平年より高い日が多い見込みです。福島県会津を含めた東北の日本海側は曇りで雪や雨の降る日がありますが、雪は小康状態となるでしょう。

問い合わせ先

福島地方気象台技術課 TEL:024-534-2161

防災業務課 TEL:024-534-0321